

菅谷小学校の校舎が老朽化しているため、改築の予定です。

そのための見積もりの費用として450万円。
改築するのなら、阪神大震災では、学校が避難場所になったこともふまえて、地域にもっと開放できるような使い方が工夫されるべきです。

国際交流検討会議が設置されます。

委員は15名、委員の公募も検討するとのこと。昨年、嵐山町は埼玉新聞主催のサイパンでの綱引き大会に参加しました。姉妹都市や、小中学生の交換、嵐山町在住の外国の方との交流の計画ができればいいですね。大きい自治体では、海外援助も実行されています。再生自転車や文具、楽器の海外譲与は反響を呼んでいます。

いきいき文化セミナーの企画があります。

住民による企画委員が、年4回のセミナーを開催します。文化活動がまだまだの嵐山町です。期待します。

都幾川に遊びに来る人のため駐車場の土地が購入されます。

これで根川橋付近の道路が土日にも車で満杯になる事態が解決でき、川原に車で入ってくるのが規制できるといいのですが。都幾川は大がかりな河川工事中です。拡幅工事で広がった芝地でゴルフをする人が目立つ。工事で失うものは多いのですが……

車イスのリフト付き自動車を購入します。

車イス3台が乗れます。来年、越畑に特別養護老人ホームが完成します。町は特別養護老人ホームにデイサービス事業を委託します。デイサービスの送迎用の自動車です。あいている時間、他にも利用できればいいですね。

区画整理事業が4つあります。

10年後には、人口2万8千人を予定。ゴミ、学校、福祉が間にあわない？平沢、駅東、川島はともかくとして菅谷地区に唯一、林の残っている東原地区まで区画整理して宅地化する必要があるのか疑問です。町の予算（地権者23名のために約2億4700万円）で線をつなぐ計画はやめてほしい。武蔵野の林を保全する政策を！

一般会計	73億7800万円
国民健康保険会計特別	7億5160万円
老人保健特別会計	8億9087万円
下水道事業特別会計	7億9000万円
水道事業特別会計	6億3073万円

予算の約40%の32億円が建設事業費です。

H7年 税金の 使い方

杉山地区の役場庁舎の建設	21億7千万円
健康増進センター	4億2千万円
フィットネス21パーク（役場7ルナック広場）	4千万円
区画整理事業	8千5百万円
道路・排水路整備等	4億2千万円

町が町債として借りる金額は、
50億4224万円になる見込みです。
町も町債返済のローンをかかえ、苦しい場所です

- ◆福祉、教育、文化活動には新しい方向性もありますが……
- ◆500万円近くの納税組合補助金は高齢者の給食サービスの50日分にあたります。別の使い方ができるはず。
- ◆行政サービスの質を転換していかないと……

教育委員はすべて年輩の男性

嵐山町の教育委員

- 教育長
飯島留一さん（62才）
昭和60年4月より
最終職歴
吉見町立西小学校長
野村定夫さん（68才）
平成2年10月より
最終職歴
嵐山町立菅谷小学校長
宮本敏彦さん（65才）
平成4年10月より
産婦人科医
田畑丈さん（57才）
平成7年6月より
産婦人科医

なぜ、町長は嵐山町の教育委員に、女性を選ぼうとしないのでしょうか。
私は、町長の選任した教育委員等に同意する議案に必ず、「なぜ女性を選任しないのか」質問します。
町長の答えは、必ず
「意中の適任者がいたので、女性を考えなかった。」です。教育委員はどうあるべきか考えていない。「おんなに、行政の口出しはさせないよ。」という姿勢がみえみえです。
教育委員は、町のえらい人ではなく、おじいちゃんおばあちゃん、おとうさん、おかあさん、お兄さんお姉さんの立場の人も加わって、教育行政のあり方を考えるべきです。
硬直化した教育には、町のえらい人だけでなく、子どもや生活する人の立場で考える人が必要です。

*訂正 東武東上線「和光市駅」ホームにもエレベーターが設置されていました。